

学校適正配置の今後の進め方に関する打合せ会（第2回）

日時：令和3年7月15日(木)

午前10時00分～

場所：教育委員室（櫛引庁舎3階）

1 市長ヒアリングに向けた対応について

(資料)・市長ヒアリング説明資料

⇒主に、4/28に行った第1回打合せを受けての現状や進捗状況の確認、役割分担の確認、課題の整理等について、協議を行いたいと考えております。

2 今後の進め方について

3 その他

学区再編(学校適正配置)の今後の進め方について(1)

令和3年7月20日
教育委員会管理課

1 適正配置で目指すもの ※「第一期 学校適正配置基本計画」より

- 子どもにとって望ましい教育環境の整備
- 全ての子どもに対する公平で適正な教育環境の保障
- 子どもの成長に応じた学びと指導を大切に、適正規模の集団での学び合い、切磋琢磨を通じた逞しい心の涵養

2 経過(これまでの取組)

- 学校適正配置基本計画(第一期)[H23年策定]
計画期間:H23~27 ⇒ 14校の統合を計画し、11校を統合
- 学校適正配置基本計画(第二期)[H27年策定]
計画期間:H28~29 ⇒ 第一期計画で未統合の3校を統合

○ 学区再編の方法と範囲

方法:単なる通学区域の見直しではなく、学校統合により行う。

理由:① 短期間に再見直しの必要がない。

② 従前の地域と学校を継続しやすい。

範囲:中学校区域(旧町村部はそれぞれの地域内)ごとに検討

○ 望ましい学校規模

・小学校は6~24学級、中学校は3~18学級

・1学級当たり15~20人以上

・複式学級の解消(小1・小2合わせて7人以下、小2・小3その他の2学年合わせて15人以下で複式)

⇒ 5年間連続して複式学級が見込まれ、解消の見込みがない場合、検討対象とする。

3 児童生徒数の推移と今後の予測

- 主な小規模校及び関連校の児童生徒数と複式学級の推移 [※別紙資料あり]

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	R22	R27	R32
黄金小	74(1)	74(1)	71(1)	68(1)	71	69	67	66	65	64	64	66	68	69
上郷小	101	93	95	89	83	78	73	72	71	70	70	72	74	76
西郷小	90	87	77	64	59(1)	60(1)	62(1)	61	60	59	59	61	63	64
湯野浜小	115	107	95	88	71	61	62	61	60	59	59	61	63	64
大山小	305	302	297	289	294	277	254	253	252	251	253	262	272	279
東栄小	62(1)	65	68	67	67	65	55	54	53	52	52	53	55	56
荻前小	64	61(1)	52(1)	43(2)	40(2)	45(2)	44(1)	43	42	41	41	42	43	44
藤島小	299	284	265	265	243	228	207	206	205	204	205	212	220	226
楢引東小	78	77	76	73	64	61(1)	55(1)	54	53	52	52	53	55	56
楢引南小	63	74	70	69	68	63	61	60	59	58	58	60	62	63
鳳ヶ岡小	53(1)	55	57(1)	51(1)	47(2)	44(2)	42(2)	41	40	39	39	40	41	42
豊浦中	61	56	59	59	59	54	45	45	39	37	37	38	39	40

※R3~9は「R3学校区別・年齢別集計」より、R10~32は「第2期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略における人口ビジョンから将来展望の年少人口」から試算

※住民基本台帳データのため、基本住所の学区に計上(特別支援学校通学や区域外通学等反映されていない場合あり)

※()内は複式学級数

4 学校施設と通学区域の課題

(1) 校舎の老朽化の進行 [※建築後45年以上の学校及び藤島中の関連校を記載(参考/RC造(鉄筋コンクリート造)耐用年数60年)]

学校名	建築年	大規模改修年	経過年数	特記事項(考慮すべき事項)
西郷小	S40	H5	56年	広範囲に劣化が認められるが、H5年に大規模改修を行っており、学校施設長寿命化計画の劣化状況評価における健全度は中位。なお、小規模校であるため、改築の是非を検討する際には、学区再編を含めた検討を要する。
大山小	S46	H22 /校舎増築	50年	H22年に校舎を増築しており、部分的に劣化が認められるものの、学校施設長寿命化計画の劣化状況評価における健全度は高い。また、H30年に屋内体育館の長寿命化改修を実施している。
上郷小	S47	H17	49年	部分的に劣化が認められるが、H17年に校舎の大規模改修を行っており、学校施設長寿命化計画の劣化状況評価における健全度は高い。なお、小規模校であるため、改築の是非を検討する際には、学区再編を含めた検討を要する。
あさひ小	S49	H6、H7、 H17	47年	広範囲に劣化が認められるが、H17年に校舎の大規模改修を行っており、学校施設長寿命化計画の劣化状況評価における健全度は中位。
朝六小	S51		45年	広範囲に劣化が認められ、学校施設長寿命化計画の劣化状況評価における健全度はやや低い。改修等の方向性は検討中。
藤島中	S43	H3	53年	劣化状況が広範囲にわたり、健全度が著しく低いため、学校施設長寿命化計画における劣化状況評価では、早急に対応が必要な区分に分類されている。また、教室の配置やトイレの広さ等について時代に即した改修を行う場合、躯体の健全性・構造的に困難(なお、安全性の観点からS56年以前の旧耐震安全性基準の建築物は、極力大規模改修を避けるという考えが通例)。 ⇒ [参考] 改築費用概算 46億円、改修費用概算 最低で8~10億円(どのような改修を行うかで額が変わる)
藤島小	S51	H13、H14 /耐震	45年	広範囲に劣化が認められるが、H13~14年に耐震補強工事を行っており、学校施設長寿命化計画の劣化状況評価における健全度は中位。
東栄小	S59		37年	広範囲に劣化が認められ、学校施設長寿命化計画の劣化状況評価における健全度はやや低い。
渡前小	S63		33年	広範囲に劣化が認められ、学校施設長寿命化計画の劣化状況評価における健全度はやや低い。

(2) 鶴岡地域における複雑な中学校通学区域

- ・中学校に進級する際、複数の中学校に分かれて進学する小学校が存在。
 - ・特に朝陽三小が3つの中学校に分散されることについて、集約化の要望が従来からあった。
- ⇒ 現在は表立った見直し要望の声は届いていない。

[参考] H30年12月及びR元年12月定例会において、本間正芳議員が一般質問(問)朝陽三小や大泉小の中学校通学区域の区割りの見直し状況は?
(答)校長やPTA会長等から意見を聴取、学区再編は地域コミュニティを壊すものであってはならない、離れ離れにならない学区編成を希望する等の意見があった。検討課題であり、引き続き意向確認と課題把握に努める。

学校名	通学区域 ※()内はR3.5.1現在の12-14歳生徒数	中学校区
朝陽三小	新形町、東新斎町、城北町、大部町、新形 (91)	鶴一中
	錦町、上畑町、山王町、宝田一丁目、日和田町、茅原町、北茅原町、西茅原町、余慶町、茅原、大宝寺日本国 (198)	鶴二中
	泉町、若葉町、家中新町、馬場町 (43)	鶴四中
大泉小	白山、矢馳、山田、大淀川、寺田、森片、上清水、中清水、下清水、清水新田 (60)	鶴一中
	井岡(朝四小通学区域を除く)、岡山 (3)	鶴四中
	安丹、中野京田、平京田、西京田 (10)	鶴一中

5 整理すべき課題

(1) 旧町村地域小中学校各一校化及び小中一貫校の検討

- ① 児童生徒数(出生数)が減少傾向にあり、地域の地理的条件、歴史的背景等諸要因を考慮に入れながら、中長期的視点に立った適切な学校の適正配置について検討が必要である。
- ② 複式化・小規模校化の進展による影響を検討する一方で、近年認められてきた少人数学級の優位性やコミュニティスクールとの整合性についても考慮が必要であり、単なる複式学級の解消という従来からの方針は見直しの検討が必要である。
- ③ 豊浦・朝日・温海地域における統合実施校の更なる小規模校化への対応も含め、地域一校化の検討が必要である。
- ④ 統合による通学区域の拡大及び通学負担の増大への対応が必要である。

(2) 学校適正配置と校舎改築の調整

- ① 老朽校舎の順次改築の必要があるが、一部については、学校施設整備を契機に学区再編も併せて検討する必要がある。

(3) 藤島地域文厚エリア構想との調整 [※別紙資料あり]

- ① 他校と比して優先度が高い藤島中の改築に際しては、老朽化している児童館(放課後児童クラブ)や武道館、利便性向上の観点からの図書館等の整備についても総合的に検討する必要がある。
- ② 上記施設のほか、地域活動センターや老人福祉センター等周辺施設のあり方などについても検討する必要があるが、課題が広範で多岐にわたり利害関係者も多いことから、調整に時間を要することも予想される。

(4) 地域住民の学区再編に対する意識の醸成

- ① 地域住民の考え・意見集約の必要性はもとより、R6年4月開校予定の県立中高一貫校が生徒・保護者の考え方に及ぼす影響の見極めが必要。

6 今後の進め方 (R3~R4)

(1) 学校適正配置の方向性の整理

- ① 第一期、第二期計画と今次作業との整合性
- ② 将来的に旧町村地域における小中学校数を原則1校ずつとする考え方の整理
- ③ 小中一貫校の検討 ⇒ 特に藤島中改築に合わせた検討
- ④ 朝陽三小等鶴岡地域における中学校通学区域の検討

(2) 検討体制の立ち上げと推進(庁内及び地元)

- ① 庁内の関係部署や外部委員を含めた推進体制(例:検討委員会)の確立及び協議検討の推進
- ② 地域・学校関係者への丁寧な説明と意見聴取

(3) 関係者への情報提供

- ① 協議・検討内容の市民への的確な情報提供

学区再編(学校適正配置)の今後の進め方について(4)

令和3年7月20日
教育委員会管理課

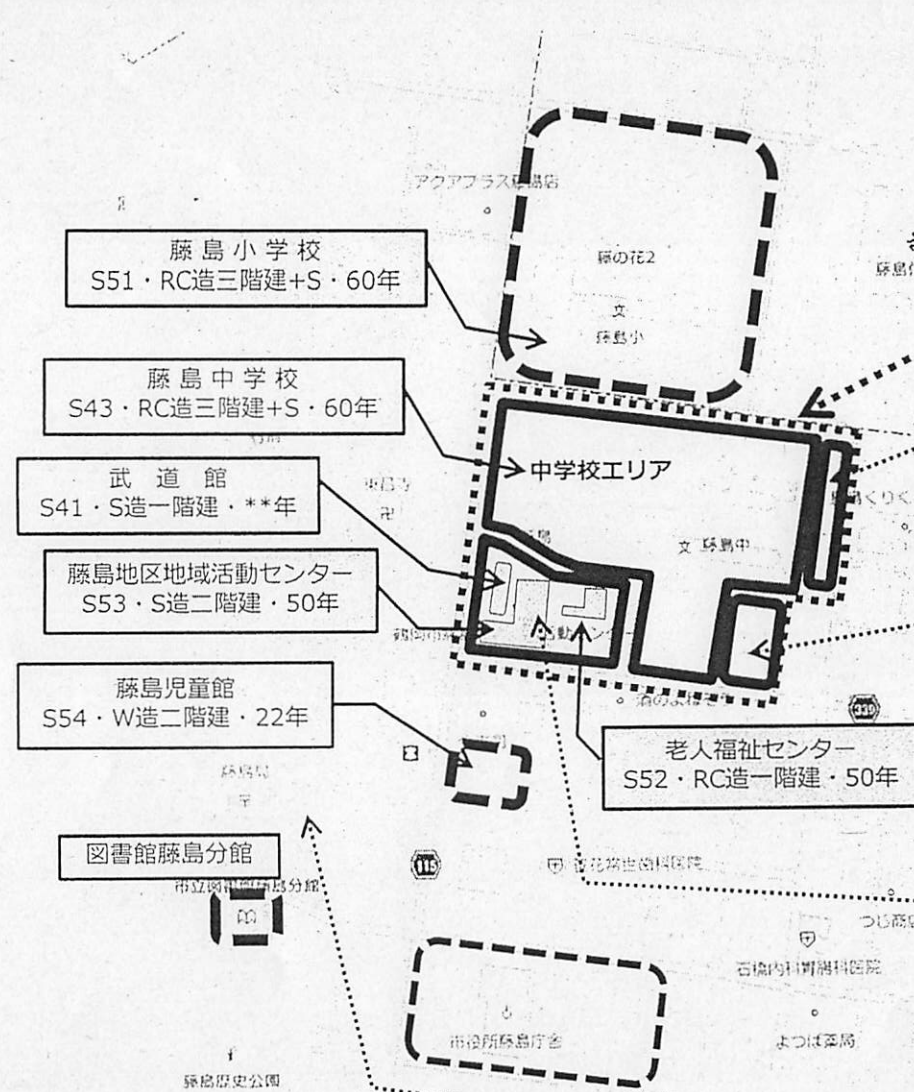
7 藤島地域文厚エリアの課題検討スケジュール(案)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
藤島地域 文厚エリアの 課題検討の 総括	地域振興懇談会等における住民説明・合意形成								
	全体調整会議 (学校配置・施設複合化・跡地利用について検討)								
教育部会 (管理課・ スポーツ課・ 図書館)	小中一貫 校の検討・ 方針決定	武道館・ 図書館の 配置検討	藤島小・東栄小・渡前小との 調整、住民説明・合意形成						
					藤島中改築 (基本構想/ 耐力度調査)	藤島中改築 (基本設計/ 実施設計)	藤島中改築 (建築工事)		藤島中 新校舎へ移行
厚生部会 (藤島庁舎 総務企画課・ 市民福祉課)	藤島地域の老人・児童福祉 施設、地域活動センターの 移転・改築の検討								

学区再編(学校適正配置)の今後の進め方について(資料1)

令和3年7月20日
教育委員会管理課

【参考資料】藤島地域文厚エリア図



文厚エリアとは…

⇒ 藤島口や藤島地区地域活動センターなどがある一面を藤島庁舎内では、通称「文厚エリア」と呼称してきたもの。
これまで藤島地域の文教厚生に関する各施策・事業の中心的役割を担ってきた。

文厚エリア

【Cゾーン】

○現状：駐車場（普通財産）
⇒ 藤島体育館脇にある「グラウンドゴルフ場」及び「藤島くまぐま保育園」の臨時駐車場として利用。
グラウンドゴルフ関係団体から舗装要望があり、毎年、敷砂利対応している。

【Bゾーン】

○現状：砂利敷の遊休地（普通財産）
⇒ 以前は藤島中のテニスコートだった。現在は、藤島中の保護者等の臨時駐車場として利用。

【Aゾーン】

○現状：藤島地域活動センター等の敷地（行政財産）
⇒ 課題として次のことがある。
・ 地域活動センターの駐車場不足
・ 武道館の老朽化及び新施設(改築)要望 [※ H31年に床の張替えを実施]
・ 旧藤島老人福祉センターの解体及び跡地利用 [※所有者は市社協]
・ 旧デイサービスセンターの活用 [※現在は防災資材庫として利用]

【エリア内外の課題 及び 今後について】

・ 「藤島中」及び「藤島児童館」の老朽化
・ 東田川文化記念館に併設の「図書館藤島分室」が手狭
※ 藤島庁舎においては、R4年度にワークショップ等の地域住民の意見を聞く場を設け、中学校の改築スケジュールに合わせてエリア全体の整備計画を策定することとしている (R3.6.29開催 地域振興懇談会資料より)。

【凡例】 “施設名称”
“建築年”・“主構造+階層”・“耐用年数”

学区再編(学校適正配置)の今後の進め方について(資料2)

令和3年7月20日
教育委員会管理課

【参考資料】市内小学校児童数の推移と今後の予測

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	R22	R27	R32
朝陽一小	548	541	520	494	476	453	402	400	398	396	399	414	430	442
朝陽二小	313	313	297	279	279	264	272	271	270	269	271	281	291	299
朝陽三小	575	569	557	540	541	542	543	541	539	537	541	561	582	598
朝陽四小	531	540	524	529	545	537	514	512	510	508	512	531	551	566
朝陽五小	383	371	370	363	341	343	318	317	316	315	317	329	341	350
朝陽六小	642	634	619	581	545	519	505	503	501	499	502	521	541	556
育小	112	116	114	109	114	112	113	112	111	110	110	114	118	121
黄金小	74(1)	74(1)	71(1)	68(1)	71	69	67	66	65	64	64	66	68	69
大泉小	147	146	145	125	128	124	112	111	110	109	109	113	117	120
京田小	136	141	141	147	149	138	151	150	149	148	149	154	160	164
上郷小	101	93	95	89	83	78	73	72	71	70	70	72	74	76
豊浦小	104	104	93	82	79	76	68	67	66	65	65	67	69	70
湯野浜小	115	107	95	88	71	61	62	61	60	59	59	61	63	64
大山小	305	302	297	289	294	277	254	253	252	251	253	262	272	279
西郷小	90	87	77	64	59(1)	60(1)	62(1)	61	60	59	59	61	63	64
藤島小	299	284	265	265	243	228	207	206	205	204	205	212	220	226
東栄小	62(1)	65	68	67	67	65	55	54	53	52	52	53	55	56
渡前小	64	61(1)	52(1)	43(2)	40(2)	45(2)	44(1)	43	42	41	41	42	43	44
羽黒小	205	212	204	184	176	175	162	161	160	159	160	166	172	176
広瀬小	158	143	134	129	124	128	124	123	122	121	121	125	129	132
楡引東小	78	77	76	73	64	61(1)	55(1)	54	53	52	52	53	55	56
楡引西小	182	178	184	194	192	172	172	171	170	169	170	176	182	187
楡引南小	63	74	70	69	68	63	61	60	59	58	58	60	62	63
あさひ小	137	128	126	113	110	101	99	98	97	96	96	99	102	104
あつみ小	160	147	134	121	113	94	90	89	88	87	87	90	93	95
風ヶ関小	53(1)	55	57(1)	51(1)	47(2)	44(2)	42(2)	41	40	39	39	40	41	42

※R3～9は「R3学校別・年齢別集計」より、
R10～32は「第2期鶴岡市まち・ひと・しごと
創生総合戦略における人口ビジョンから
将来展望の年少人口」から試算

※住民基本台帳データのため、基本住所の
学区に計上(特別支援学校通学や区域外
通学等反映されていない場合あり)

※()内は複式学級数

学区再編(学校適正配置)の今後の進め方について(資料3)

令和3年7月20日
教育委員会管理課

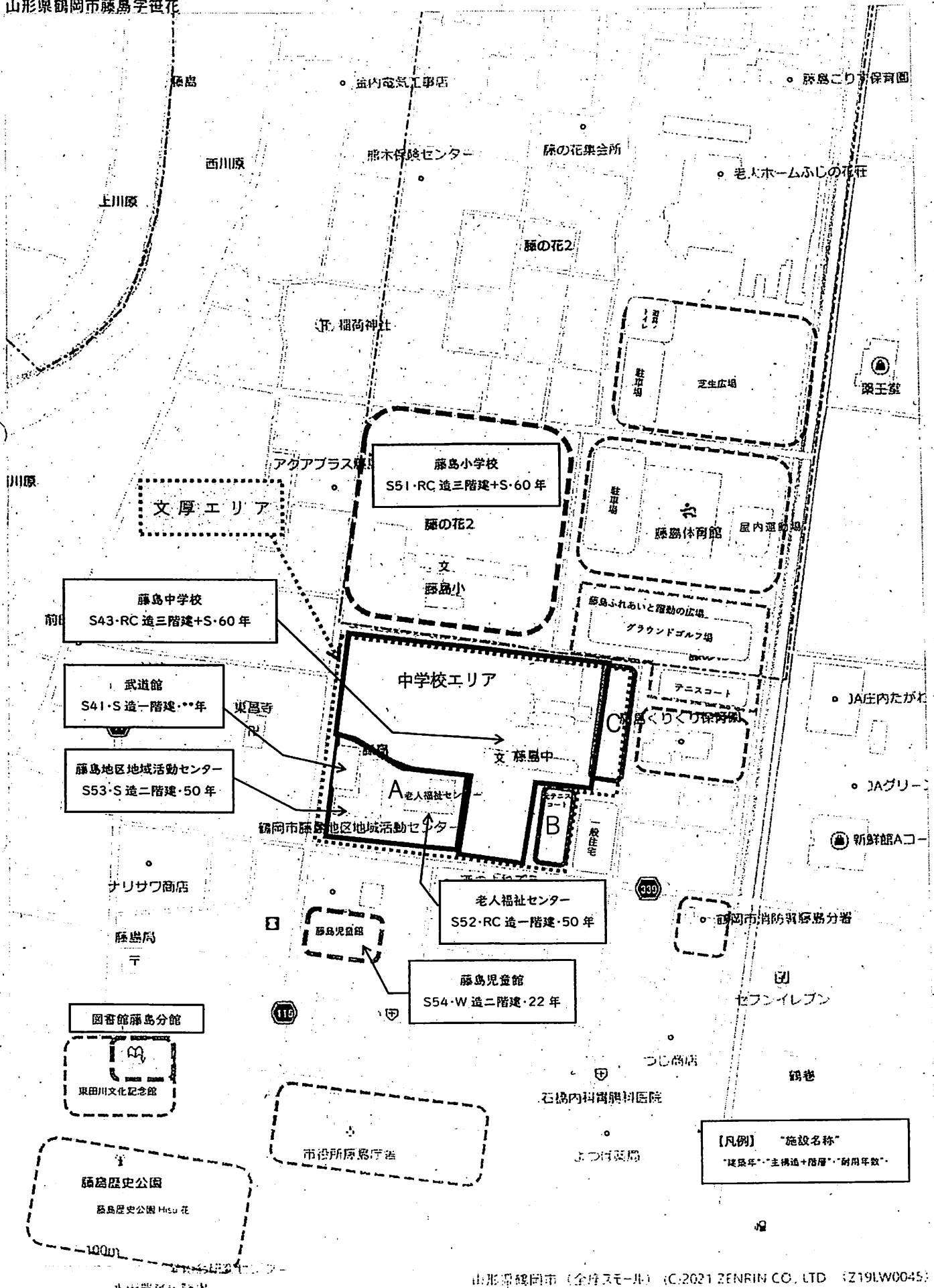
【参考資料】市内中学校生徒数の推移と今後の予測

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	R22	R27	R32
鶴岡一中	561	545	519	561	541	577	526	533	490	472	475	493	512	526
鶴岡二中	417	406	419	419	413	384	381	376	382	374	376	390	405	416
鶴岡三中	615	597	576	544	523	513	503	521	489	447	450	467	485	498
鶴岡四中	343	316	331	323	319	296	305	312	322	316	318	330	342	351
鶴岡五中	309	289	281	271	266	257	239	230	212	202	203	210	218	224
豊浦中	61	56	59	59	59	54	45	45	39	37	37	38	39	40
藤島中	256	250	238	225	214	202	200	196	183	175	176	182	189	194
羽黒中	200	197	197	205	196	177	158	159	161	155	156	161	167	171
楯引中	177	173	170	163	164	172	160	165	158	176	177	183	190	195
朝日中	90	91	81	81	67	63	56	61	63	57	57	59	61	62
温海中	135	124	120	116	112	109	97	90	82	75	75	77	80	82

※R3～12は「R3学校区別・年齢別集計」より、
R17～32は「第2期鶴岡市まち・ひと・しごと
創生総合戦略における人口ビジョンから
将来展望の年少人口」から試算

※住民基本台帳データのため、基本住所の
学区に計上(特別支援学校通学や区域外
通学等反映されていない場合あり)

山形県鶴岡市藤島宇笹花



【凡例】 “施設名称”
 “建築年”・“主構造”・“階層”・“耐用年数”